



松原のりかず
☎058-253-2500

「全原子力発電所の再稼働中止を求める」 意見書(案)が否決に

市民の願い国へ届けない岐阜市議会に残念

意見書の内容は 大津地裁は関西電力高浜原発3、4号機の運転差し止めの仮処分手続きをみとめ原発の運転停止を命じました。原子力規制委員会の姿勢に「非常に不安を覚える」と批判しています。意見書(案)は、1 全国の原発再稼働に着手しない方針確立。2 運転と再稼働作業の中止。3 国主導の避難計画策定。を求めています。岐阜市議会無所属クラブから提案されましたが、賛成少数で否決に。

「再稼働中止」に賛成の議員7人、「意見書に賛成しなかった」議員29人。「意見書に賛成しないで、議場から退席した」議員1人。下記のとおり。(2016年3月議会)

意見書に賛成し、「原発再稼働中止」を主張した議員 7人

松原のりかず 服部勝弘 田中成佳 高橋和江

堀田信夫 井深正美 原菜穂子

意見書「原発再稼働中止」に反対した議員 29人

郷 英明 渡辺貴郎 長屋千歳 黒田育宏 石川宗一郎 若山貴嗣

石井浩二 小堀将大 鷺見守昭 和田直也 谷藤錦司 大野一生

須賀敦士 杉山利夫 西垣信康 江崎洋子 松原和生 浅野裕司

丸山慎一 信田朝次 須田 眞 國井忠男 高橋 正 辻 孝子

山口力也 柳原 覚 西川 弘 渡辺 要 松岡文夫

「原発再稼働中止」の意見書に賛成しないで、議場を退席。態度不明の議員
富田耕二

※ 竹市 勲 は、議長で表決に加わらない。(敬称略)

全原子力発電所の再稼働中止を求める意見書(案)

大津地裁は本年3月9日、関西電力高浜原発3、4号機の運転差し止めを求めた仮処分の手続で、住民側の主張を認め運転を停止するよう命じた。

山本善彦裁判長は原発の安全対策を講ずるには福島第一原発事故の原因究明を徹底的に行うことが不可欠と指摘し、原因究明が進まない中で、新規制基準を策定した原子力規制委員会の姿勢を「非常に不安を覚える」と批判した。また、発電の効率性を甚大な災禍と引き換えにはできないことや福島の原発事故を踏まえた過酷事故対策、耐震基準策定、津波対策及び避難計画に疑問が残ることも指摘している。

福島第一原発事故はメルトダウンしたと言われる原子炉内部の調査ですらできていない状況で、廃炉対策どころか毎日の汚染水対策に混迷する状態である。原発の安全性に対する国民の不安は大きくなるばかりであり、国の責任は重大である。

よって、国におかれては、下記事項について早期に実現するよう強く要望する。

記

- 1 福島第一原発の事故原因の究明を徹底的に行い、廃炉計画を策定するとともに、国民に明示し理解を得るまでは、全国の原発の再稼働作業に着手しない方針を確立すること。
 - 2 全国の運転中の原発を停止し、再稼働に向けて準備中の原発の作業を中止すること。
 - 3 国の主導により、原発事故時の避難計画を策定すること。
- 以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

岐阜市議会

国会及び関係行政庁宛